

街ににぎわいを！

話題のアレも“官民連携”！

詳細 都心まちづくり課 ☎211-2692



国内最大級！北5西1の壁画アート

札幌駅近く（中央区北5西1）に誕生した巨大壁画。北海道の豊かな四季の移り変わりの中で生きる、キタキツネやエゾリス、シマエナガなどが描かれています。制作に至るまでの経緯などを、制作した企業の方と市職員に聞きました。



JAPAN AX PROJECT 株式会社 山田真史さん × 札幌市都心まちづくり課 森職員

山田さん 仮囲いを見ながら、壁画が街のにぎわいを生み出せるのではないかと思います。実は都心でこれほど大きな壁画を掲示しているのは、全国でも非常にまれなんです。多くの規制がある中で完成させられたのは、市が「同じ方向を向く仲間」として、柔軟に対応してくれたからだと思っています。市民の皆さんのほか、全国のアーティストからも好評です。この壁画が、道内外のアーティストが活動したいと思える環境づくりの一助となり、その結果、道内各地に壁画が増え、北海道の文化資源・観光資源となれればいいなと思っています。将来的に、にぎわいを生み出す手段としての壁画を浸透させ、道内各地に壁画を増やし、道内全体に人が流れる仕組みを作れたらと思っています。



森職員 都心部では大規模再開発が進む一方で、無機質な仮囲いにより、街の魅力やにぎわいが失われていることが課題でした。そんな中、JAPAN AX PROJECT 株式会社から、市所有の仮囲いを活用した壁画アートの提案を受けました。全長約100mの壁一面に壁画を描くという、アートで都心に新たな魅力を生み出す画期的なアイデアで、お話を聞いた時は驚きましたが、絶対に実現させたいと思いました。市では仮囲いの使用の許可や屋外広告物に関する調整、広報活動に関する支援などを行いました。壁画が札幌に来る方の目的の一つになればうれしいですし、市民の方にもぜひ見ていただきたいです。



SNSで話題！旧エスタの壁面に「文字」が出現

令和5年8月に閉館し、解体工事が進められている旧エスタの西側壁面に「THANK YOU」、東側壁面に「Welcome SAPPORO」の文字が出現しています。これは、JR北海道からの提案を受け、解体工事に使う防音パネル・採光パネルの配置を工夫することで実現したものです。圧迫感のある景観を和らげ、見た方に前向きな印象を与えるこの取り組みは、これまでエスタを利用いただいた方たちへの感謝の気持ちと、街への来訪者を歓迎する気持ちが込められています。市では、この取り組みを実現するため、屋外広告物に関する調整などを行いました。



“官”と“民”が共に創る、札幌の未来

時代とともに地域課題が複雑になる中、行政の力だけではその解決が難しくなっており、企業が持つ知識や技術などの重要性はより高まっています。今回の特集では、行政と企業の連携が行政・企業・市民のそれぞれにもたらすメリットのほか、地域課題の解決に貢献したり、私たちの生活をより良くするための取り組みについて紹介します。

詳細 公民・広域連携推進室 ☎211-2281

“官民連携”って何だろう？

官民連携とは、行政（官）と民間企業など（民）が連携することを広く指した言葉です。市では「行政が課題の解決方法（事業）を決め、その実施を企業に委託する」といった従来の行政主導の連携に加え、「課題自体を行政と企業が共有し、解決に向けた新たな取り組みを共に創る」などといった、企業の主体的な発想や参画を推進しています。

行政と企業が連携すると、どんな良いことがある？

行政の視点から

悩み

社会情勢を捉えた、課題解決のための効果的な取り組みが生まれにくい。

連携によって

行政だけでは考えつかなかったような企業のアイデアを基に、斬新な取り組みが生まれやすい。

悩み

地域課題が複雑化しており、行政だけの力で解決することが難しい。

連携によって

専門的な知識や経験、幅広い人脈を持つ民間企業の人材にも活躍してもらうことができる。

悩み

法令などの制約により、柔軟な対応や、効率的なサービス提供が難しい。

連携によって

民間の資金やノウハウを取り入れることで、よりコストを抑え、効率的にサービスを提供できる。

企業の視点から

悩み

特にスタートアップ企業など、実績や知名度が不足していて、社会的な信用を築きにくい。

連携によって

「行政と連携した実績のある企業」として、社会的な信用度が上がる。

悩み

企業が社会課題の解決と経済的利益の追求を両立させるという機運が高まっているが、企業単独では取り組める範囲が限られ、収益性のある事業として成立させることが難しい。

連携によって

取り組みの幅が広がり、事業としての成立が期待できる。



市民の視点から

連携によって

- ・市の事業の実施や見直しにおいて、官民連携を一つの選択肢とすることで、市民のニーズに対応した質の高いサービスの提供が受けられる。
- ・新たな事業や取り組みによって、雇用の増加や地域活性化につながる。

空き家の解体費用と 土地売却査定価格の概算額を 確認できるように

背景

市では「札幌市空家等対策計画」に基づき空き家対策を進めていますが、毎年、適切に管理されていない空き家に関する通報や相談が多数寄せられているのが現状です。特に所有者からは、「処分にかかる費用が分からない」「解体業者を知らない」など、空き家の処分に關する相談が寄せられ、処分や管理への具体的な行動ができていないケースが多いことが課題です。

新たな取り組み

所有者が空き家の処分を考えるきっかけづくりとして、(株)クラッソーネから、「札幌市販すまいの終活ナビ」の活用を提案されました。土地・建物の面積、最寄り駅、接する道の幅などの条件をスマホなどから入力するだけで、解体費用と土地売却査定価格の概算額を、無料で手軽に把握できるようになりました。

詳細 監察担当課 ☎211-2808



百合が原公園に複合施設 「LiLiLi」を開設



背景

25.3haという広大な敷地を持ち、約6,400種類の花や植物が見られる百合が原公園。開園から40年以上たった今も多く市民に愛される一方、これまで利用者からは飲食施設を求める声が多かったほか、駐車場不足などの課題を抱えていました。

新たな取り組み

パークPark-PFI※という制度を活用し、(株)ユリガハラパークフューチャーラボYURIGAHARA PARK FUTURE LABと連携。複合施設「LiLiLi」が昨年10月にオープンしました。主カメニューのフオカッチャサンドやスペシャルティコーヒーなどを提供するカフェに、子どもたちの学びを支援する空間を併設。また、駐車場69台分を増設したほか、芝生広場やベンチなどを整備しました。

※民間事業者のノウハウを活用し、飲食店やイベントなどで得られる収益の一部を公園の整備・管理費に充てることで、行政の負担を軽減し、より魅力的な公園づくりを目指す制度

詳細 みどりの推進課 ☎211-2533

コンビニをバス待合所として 利用できるように



背景

市では、公共交通機関の経路検索や運行時刻、バス接近情報を確認できる「さっぽろえきバスnavi」を提供するなど、路線バスを利用する際の利便性の向上を図っています。

定山溪温泉街に 日帰り客向けの駐車場を整備



背景

定山溪温泉街で無料提供されていたスポーツ公園公共駐車場は、舗装や駐車区画の未整備により、敷地面積に見合った十分な駐車台数を確保できていませんでした。このため、特に日帰り客にとって利用しにくい状況が生じ、混雑や不便さが課題となっていました。

新たな取り組み

タイムズ24(株)から提案を受け、砂利敷きで駐車スペースの区分けがなかったスポーツ公園公共駐車場に、舗装や駐車区画の整備を行い、案内サインや精算機などを設置しました。整備後の駐車場は、「タイムズ定山溪観光駐車場」として昨年9月にオープン。利用者が支払った駐車料金※を駐車場の適正な維持管理に充てることができるほか、利便性や快適性の向上を図っています。

※駐車後24時間ごとに500円/台。キャッシュレス専用

詳細 観光・MICE推進課 ☎211-2376



対象の店舗は
こちらから▶

新たな取り組み

バス到着までの待ち時間をより快適に過ごしていただくために、(株)セコマ、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)ローソンの協力の下、バス停留所付近のコンビニエンスストアを待合所として利用できる取り組みを開始しました。本取り組みは、バスの停留所付近の市内計22カ所(令和7年12月1日現在)のコンビニエンスストアで行っています。

詳細 都市交通課 ☎211-2492

身近な 連携事例を ご紹介!

行政と企業が一緒に取り組み、暮らしを豊かにする
身近な事例を紹介します。

地下鉄乗車時に クレジットカードなどの タッチ決済ができるように



背景

主に海外から訪れた方は交通系ICカードを持っていないことも多く、目的の駅にスムーズに移動できないことがありました。

新たな取り組み

三井住友カード(株)から提案を受け、昨年4月から市営地下鉄全駅でクレジットカードなどのタッチ決済で乗車できるようになりました。利用方法は、専用の読み取り機が付いた自動改札機に、下記の対象のカードなどをかざすだけです。

対象のカードなど

タッチ決済機能(リップルマーク)付きのクレジットカード・デビットカード・プリペイドカードが、これらのカードが設定されたスマートフォン
(対応ブランド)
Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club、Discover、銀聯

詳細 交通局営業課 ☎896-2706

もっと暮らしを豊かに！新たに始まる取り組み

地域課題を解決し、より豊かな生活を実現するために、
市と企業が連携して新たな取り組みを行います。

傾聴AIによるお悩み相談



背景

市ではさまざまな相談窓口を設けていますが、電話や対面の窓口では素直に悩みを相談しにくく、人に話すことに抵抗があるという方もいます。また、時間帯によっては混み合ってしまうほか、24時間の相談対応が難しいという課題もあります。

新たな取り組み

㈱ZIAIからAI技術を活用した相談窓口について提案されました。傾聴AIによるチャット相談窓口で、24時間365日、いつでも気兼ねなく悩みを相談することができます。3月から実証事業によるサービスを開始する予定です。

詳細 保健福祉局総務課 ☎211-2647

市では、地域の課題を解決し、市民の皆さんの暮らしがより豊かで便利になるように、今後も官民連携の取り組みを進めていきます。

自動除雪ロボット

背景

人口減少を背景とした将来的な人手不足が予測される中、持続可能な街を実現していくためには先端技術の活用が必要不可欠です。



新たな取り組み

㈱DFA Roboticsとロボット技術を活用した地域課題の解決に向けた連携協定を締結しました。第一弾の取り組みとして、市民の皆さんの関心が高い除雪分野におけるロボットの活用に向けて、市役所や土木センターの敷地で1月から実証実験を行っています。

詳細 未来創生担当課 ☎211-2338

スキー場でのタクシーのシェア乗り



背景

スキー場によってはタクシー配車アプリの範囲外であったり、市内中心部から直接アクセスできる交通手段が限られており、利便性に課題があります。

新たな取り組み

㈱NearMeから、スキー場を利用する方が快適に移動できるサービスについて提案されました。スキー場と市街地の間をタクシーに乗って行き来したい人同士が、事前にアプリで予約をして相乗りする「シェア乗り」の実証実験を、札幌ハイヤー協会の協力を得て市内の対象のスキー場で行っています。

対象 国際スキー場、ティネススキー場、ばんけいスキー場、藻岩山スキー場、滝野スノーワールド、フッズスノーエリア

詳細 観光地域づくり担当課 ☎211-2376



パートナーと共に創る、街の未来

札幌の街をより良くしたり、生活を豊かにするために、市と協定を結び一緒に活動している企業があります。
ここでは、企業とその取り組みについて紹介します。

詳細 公民・広域連携推進室 ☎211-2281

車がなくても買い物やすく

市では、運転免許証を自主返納した65歳以上の方が、協力店でさまざまな特典を受けられる制度を設けています。コープさっぽろでは、通常200円かかる買い物の荷物の配送料を、専用コンテナ2個まで無料で配送しています（別途申請が必要です）。



生活協同組合コープさっぽろ

食品や生活用品の販売のほか、家庭への宅配サービスを行っているコープさっぽろ。その資源や経験を生かして札幌のまちづくりに役立てるため、市と「まちづくりパートナー協定」を結び、さまざまな取り組みをしています。



円山動物園に果物を寄付

コープさっぽろに果物を卸しているANAフーズ㈱とスノウプル札幌㈱と協力し、規格外の果物などを動物たちの餌として園に寄付。園では餌代の負担が減るほか、コープさっぽろにとっては販売できない果物のフードロス削減にもなっています。

店舗で休んで熱中症対策

市では、熱中症防止のため、冷房設備のある施設を「クーリングシェルター」として指定しています。コープさっぽろでも店舗を開放しており、市民の皆さんに気軽にご利用いただけます。



コープさっぽろは「北海道で生きること誇りと喜びにする」を理念にしています。市民の皆さんのために、札幌をより快適に暮らせる街にしていきたいという思いは市と同じです。これからも市と手を取り合いながら、地域の課題解決に向けて、地域に密着したサービスを行っている私たちだからこそできることに積極的に取り組んでいきたいです。



生活協同組合
コープさっぽろ
広報部
総務課
森さん

㈱コロンビアスポーツウェアジャパン

アウトドアに関する深い知見を持つコロンビア。札幌の自然を活用しながら、アウトドア活動や地域活動を促進するために、市と「持続可能な世界都市さっぽろの実現を目指す包括連携協定」を結びました。市の魅力向上のためにさまざまな取り組みを行っています。



青少年山の家で例年開催している「あそびばざ〜る」で、スノーシューハイクのワークショップを実施。雪上での遊びを教えたり、ウェアのレンタルを実施したりと、自然の中で遊ぶ機会の少ない子どもたちが楽しむことができるようにサポートしました。また、大人から子どもまで札幌の自然に関心が持てるようなイベントも多数行っています。

市の山岳救助隊の活動用ウェアもサポート！山岳救助隊はコロンビアのアウトドア教室で安全啓発を行うなど、協力し合っています

